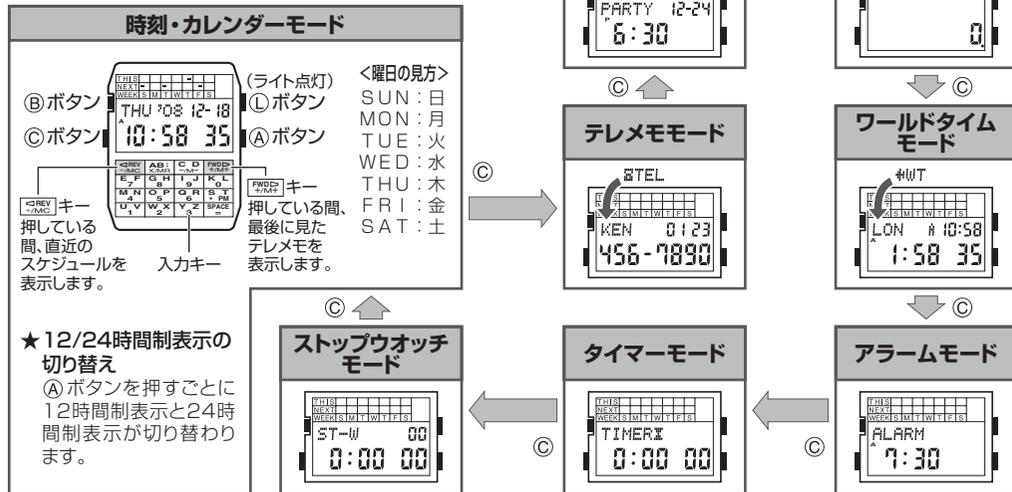


## 操作のしくみと表示の見方

◎ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

- ※確認音が鳴らない場合は「操作確認音のON/OFF」を参照してください。
- ※各モードでその機能を使用した後、◎ボタンを押すと直接、時刻・カレンダーモードに戻ります。
- ※詳しくは各機能の項目をご覧ください。



## テレメモ機能の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって◎ボタンを押し、テレメモモードに入ります。

### ■テレメモ機能とは

テレメモ機能は、「アルファベット9文字、数字12桁」（または数字21桁）までの電話番号などのデータを最大50件（テレメモとスケジュールの合計で50件）まで記憶できます。また、暗証番号を入れないとデータを読み出せない機能もある（シークレット機能）ので、他人に見られたくないデータ保存にも便利です。

### ●テレメモデータを読み出す

◎ボタン または ◎ボタン キーを押します

→それぞれのキーを押すごとに記憶されているデータが呼び出されます。

※いずれも押し続けると早送りします。



### ●メモリー使用件数を見る

◎ボタン キーを押している間、メモリー使用件数を表示します。

※テレメモモード（シークレット含む）とスケジュールモードのデータ合計数を表示します。

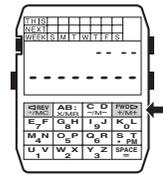


## ■データセットのしかた

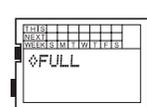
### 1. ページ選択

◎ボタン または ◎ボタン キーを押します

新しくセットするときはリセット表示（右図）、修正するときは、修正したいページを表示させます。



すでに50件のデータが記憶されているときは、「FULL」を表示し、これ以上記憶できません。不要なデータを消してから再度セットを行なってください。

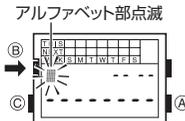


- テレメモを消すとき → 「テレメモのデータ消去」参照
- スケジュールを消すとき → 「スケジュールのデータ消去」参照

## 2. セット表示にする

◎ボタンを押します

→アルファベット部の1桁目が点滅します。



このとき、◎ボタンを押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動し、◎ボタンを押すごとに1桁ずつ左に移動します。

### <アルファベット部への入力>

アルファベット、数字および記号（ピリオド、ハイフン、空白）が入力できます。

入力キーを押すごとに、キーに印刷された文字が点滅箇所順に順次表示されます。入力したい文字が表示されたら、◎ボタン（または◎ボタン）で点滅を移動させます。

例)このキーを押すごとに、  
K → L → O → K → L ...  
と切り替わります。

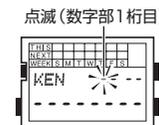
※ピリオドは◎ボタンを3回、ハイフンは◎ボタンを3回、空白は◎ボタンを押します。

※アルファベットの入力が終わりましたら、◎ボタンを押して数字部1桁目まで点滅を移動させます。

### <数字部への入力>

数字およびハイフン、空白のみ入力できます。

入力キーを押すごとに、点滅箇所順に数字が表示され、自動的に点滅が1桁右に移動します。

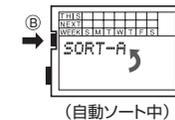


- ★続けて他のデータセットするとき → 「テレメモ機能の使い方」の「続けてセットするとき」参照
- ★セット例 → 「セット例...CASIO 03-5334-4111」を入力参照

## 3. セットが終わりましたら

◎ボタンを押します

→「自動ソート」が行なわれメモリー完了です。



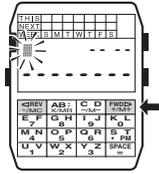
### ★自動ソート

メモリーされたデータはアルファベット部の9文字を先頭から比較し、自動的に整理されます。順序は記号（空白、ハイフン、ピリオド）、アルファベット（A～Z）、数字（0～9）の順となります。

## ●続けてセットするとき

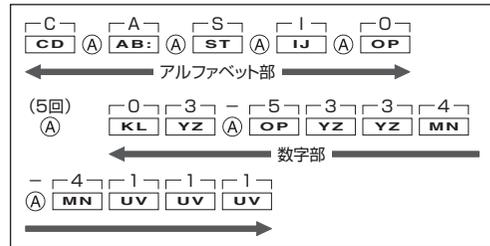
1度に数件のデータをセットするときには、1件のデータセット後、(表示が点滅しているときに) **[FWD]** キーを押します。

→新しいセットページ(アルファベット部1桁目が点滅)になりますので、同様にセットを行ないます。



すべてのデータセットが終わりましたら、**[A]** ボタンを押します。

## ●セット例…「CASIO 03-5334-4111」を入力



## ●テレメモのデータ修正/データ消去

### <準備>

**[FWD]** または **[SKEY]** キーを押して修正あるいは消去したいデータを表示させてから **[A]** ボタンを押します。

(アルファベット部1桁目が点滅)



### <データ修正>

**[A]** または **[C]** ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、正しく入力し直します。(入力方法はセット時と同じ)

→データ修正後は、**[B]** ボタンを押します。

### <データ消去>

**[D]** ボタンを3秒以上押し続けると、「CLEAR」が表示され、データが消去されます。

→データ消去後は、**[B]** ボタンを押します。

## ■シークレット機能について

他人に見られたくないデータを保存するときは、シークレット機能を使用すると便利です。

シークレット機能とは、暗証番号をセットしてデータの中にシークレットエリアを作り、そこにメモリーしたデータは、暗証番号を入力しないと呼び出しできないというものです。

## ●暗証番号のセット

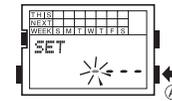
～シークレットエリアを作る～

### 1. テレメモモードのとき

#### **[A]** ボタンを押します

→確認音が鳴り、暗証番号セット状態になります。

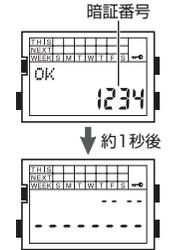
※暗証番号がセットされているときは、「NO.?’が表示されます。(「シークレットエリアに入るには」参照)



### 2. 暗証番号入力

#### 入力キーで任意の数字4桁を押します

→この番号が暗証番号となり、約1秒後シークレットエリア(点灯)に入ります。



### 3. データをセットする

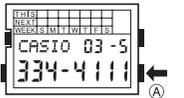
通常のデータセットと同様にしてデータをセットします。

※「データセットのしかた」参照

## 4. 通常メモリー表示に戻すには

#### **[A]** ボタンを押します

※ **[C]** ボタンを押すと直接時刻・カレンダーモードに戻ります。



★データセットの状態のまま1～2分すると、自動的に時刻・カレンダーモードに戻ります。

### ■ご注意

暗証番号をセットし、シークレットエリアを作ると、以後その暗証番号を入力しないとシークレットエリアのデータを見ることはできません。

※「シークレットエリアに入るには」参照

## ●シークレットエリアでは(点灯)

通常メモリーと同様に、**[FWD]** または **[SKEY]** キーでデータを呼び出すことができます。

また、シークレットエリア内のデータセットおよびデータ修正、消去もすることができます。

(データ修正、消去については、「テレメモのデータ修正/データ消去」参照)

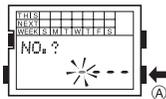
## ●シークレットエリアに入るには

(暗証番号をセットしているとき)

### 1. テレメモモードのとき

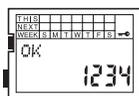
#### **[A]** ボタンを押します

→確認音が鳴り、暗証番号をたずねる表示になります。



### 2. 入力キーで、4桁の暗証番号を入力します

→暗証番号が合っていると、「OK」表示後、シークレットエリアに入ります。



→暗証番号が間違っていると、「ERROR」表示後、再び暗証番号をたずねます。

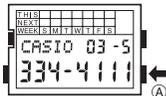


※途中で暗証番号を間違えて入力したときは、そのまま適当な数字キーを押して「ERROR」表示にしてから、あらためて正しく暗証番号を入力してください。

### 3. 通常メモリーに戻すには

#### **[A]** ボタンを押します

※ **[C]** ボタンを押すと、直接時刻・カレンダーモードに戻ります。

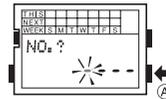


## ●暗証番号を変更するとき

### 1. テレメモモードのとき

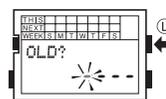
#### **[A]** ボタンを押します

→確認音が鳴り、暗証番号をたずねる表示になります。



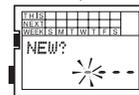
### 2. **[D]** ボタンを押します

→「OLD」が点灯しますので、現在登録している暗証番号を入力します。



### 3. 正しく暗証番号が入力されると、「NEW」と表示されます(右図)。この表示のとき新しい暗証番号をセットできます

→新しい暗証番号をセットすると、自動的にシークレットエリア(点灯)に入ります。



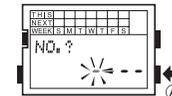
## ●暗証番号を忘れてしまったときは

セットした暗証番号を忘れてしまったときは、新しい暗証番号をセットし直し、あらためてシークレットエリアを作ります。なお、このとき、はじめの暗証番号で作ったシークレットエリアのデータはすべて消去されますのでご注意ください。

### 1. テレメモモードのとき

#### **[A]** ボタンを押します

→確認音が鳴り、暗証番号をたずねる表示になります。

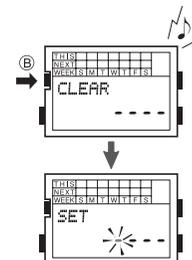


### 2. このとき

#### **[B]** ボタンを約3秒間押し続けます

→それまでの暗証番号が消え、新しい番号をセットする表示になりますので、暗証番号セット時と同様に、新しい暗証番号をセットします。

※「暗証番号のセット」参照



## スケジュール機能の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**◎**ボタンを押し、スケジュールモードにします。

### ■スケジュール機能とは

スケジュール機能は「アルファベット12文字までのメッセージとその月日時刻」のデータを最大50件(スケジュールとテレメモの合計で50件)まで記憶できます。セットした日時になると、メッセージとともに20秒間電子音で知らせます。

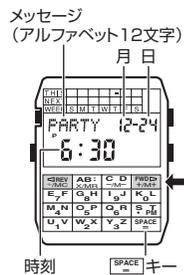
※なお、日付が更新されると、当日の過ぎ去ったスケジュールは自動的に消去されます。

### ●スケジュールデータ呼び出す

**FWDEP** または **CFREV** キーを押します

⇒それぞれのキーを押すごとに記憶されているデータが呼び出されます。

※いずれも押し続けると早送りします。



### ●メモリー使用件数を見る

**SPACE** キーを押している間、メモリー使用件数を表示します。

※スケジュールモードとテレメモモード(シークレット含む)とのデータ合計数を表示します。



### ●スケジュール予告機能

…デジタル部上段に表示します

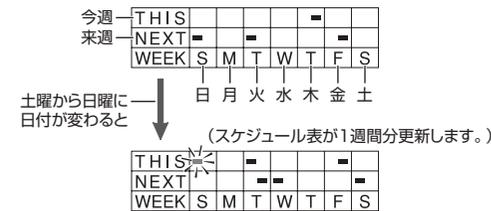
時刻・カレンダーモードでは、当日を含めたその週(日曜～土曜)と次の週(日曜～土曜)の2週間分のスケジュールの有無をそれぞれ午前/午後に分けてスケジュール表に表示します。

当日になると、該当のマークが点滅し、スケジュールがあることを知らせます。そしてセット時刻になると電子音(時刻・カレンダーモードではメッセージも同時に表示)で知らせます。

※なお、カレンダーが新しい週になると(土曜→日曜)、スケジュール表も自動的に1週間更新されます。

### ★カレンダー表示例<時刻・カレンダーモード>

今週は木曜の午後、来週は日曜の午前、火曜の午前、金曜の午後スケジュールがある場合は以下のような表示になります。

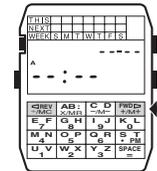


## ■データセットのしかた

### 1. ページ選択

**FWDEP** または **CFREV** キーを押します

新しくセットするときはリセット表示(右図)、修正するときは、修正したいページを表示させます。



すでに50件のデータが記憶されているときは、「FULL」を表示し、これ以上記憶できません。不要なデータを消してから再度セットを行なってください。



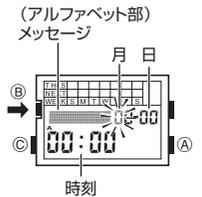
スケジュールを消すとき→「スケジュールのデータ消去」参照

テレメモを消すとき→「テレメモのデータ消去」参照

## 2. セット表示にする

**◎** ボタンを押します

⇒月(10月台)が点滅します。



このとき、**◎** ボタンを押すごとに点滅箇所が1桁ずつ右に移動し、**◎** ボタンを押すごとに1桁ずつ左に移動します。

### <数字部(月・日・時刻)への入力>

数字のみ入力できます

入力キーを押すごとに、点滅箇所数字が表示され、自動的に点滅が1桁右に移動します。



### <アルファベット部(メッセージ)への入力>

アルファベット、数字および記号(コロン、ハイフン、空白)が入力できます。

入力キーを押すごとに、キーに印刷された文字が点滅箇所順に順次表示されます。入力したい文字が表示されたら、**◎** ボタン(または **◎** ボタン)で点滅を移動させます。

※入力キーについては、「アルファベット部への入力」参照

★続けて他のデータセットするとき  
→「スケジュール機能の使い方」の「続けてセットするとき」参照

★セット例 → 「セット例…12月24日 午後6時30分 PARTY」を入力」参照

## 3. セットが終わりましたら

**◎** ボタンを押します

⇒「自動ソート」が行なわれメモリー完了です。



### ★自動ソート

メモリーされたスケジュールは「月・日」「時・分」を比較してその日から近い順に整理されます。

### ■ご注意

- スケジュールをセットできるのは、その日から(当日を含む)1年間です。(今日が12月12日のとき、翌年の12月11日まででセットできます。)
- スケジュールは必ず「月・日・時刻」をセットしてください。月日が「00月00日」のときは、スケジュールとしてセットされません。

### ●続けてセットするとき

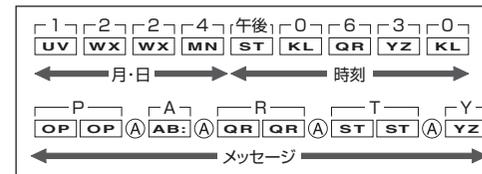
1度に数件のデータをセットするときは、1件のデータセット後に、(表示が点滅しているときに) **FWDEP** キーを押します。

⇒新しいセットページ(10月台が点滅)になりますので、同様にセットを行ないます。



すべてのデータセットが終わりましたら、**◎** ボタンを押します。

### ●セット例…「12月24日 午後6時30分 PARTY」を入力



### ●スケジュールのデータ修正/データ消去

#### <準備>

**FWDEP** または **CFREV** キーを押して修正あるいは消去したいデータを表示させてから **◎** ボタンを押します。(10月台が点滅)

点滅(10月台)



#### <データ修正>

**◎** または **◎** ボタンで修正したい箇所に点滅を移動させ、正しく入力直します。(入力方法はセット時と同じ)

⇒データ修正後は、**◎** ボタンを押します。

#### <データ消去>

**◎** ボタンを3秒以上押し続けると、「CLEAR」が表示され、データが消去されます。

⇒データ消去後は、**◎** ボタンを押します。

## 計算機能の使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**ⓐ** ボタンを押し、計算モードにします。

計算は置数、答とも8桁（負数は7桁）で数式通りに計算できます。また、**FW/FPP** **CMP** **AB/±** **PREV** の各キーを押すとそれぞれ+、-、×、÷が表示され、計算過程が確認できます。

### ●基本計算…数式通りに操作できます

例題	操作	表示窓
53+123-63=113	53 <b>+</b> 123 <b>-</b> 63	53. 123   176. 63   113.
2.3×6×5.2=71.76	2.3 <b>×</b> 6 <b>×</b> 5.2	71.76
89÷56=1.5892857	89 <b>÷</b> 56	1.5892857
963×(23-56)=-31779	963 <b>×</b> (23 <b>-</b> 56)	-31779.
(56×3-89)÷5.2+63=78.192307	(56 <b>×</b> 3 <b>-</b> 89) <b>÷</b> 5.2 <b>+</b> 63	78.192307
123456×741852=915億86080000	123456 <b>×</b> 741852	915.8608E 億の位 エラー

### ●定数計算

置数の後に**FW/FPP** **CMP** **AB/±** **PREV** キーを2回押すと、その数が定数としてセットされ（Kを表示）、同じ数を足したり、引いたり、掛けたり、また、同じ数で割ったりする計算が簡単にできます。

例題	操作	表示窓
12+23=35	23 <b>+</b> 12	+ K 35.
45+23=68	45 <b>+</b> 23	+ K 68.
7-5.6=1.4	5.6 <b>-</b> 7	- K 1.4
2-5.6=-3.6	2 <b>-</b> 5.6	- K -3.6
2.3×12=27.6	12 <b>×</b> 2.3	× K 27.6
4.5×12=54	4.5 <b>×</b> 12	× K 54.
45÷9.6=4.6875	9.6 <b>÷</b> 45	÷ K 4.6875
78÷9.6=8.125	78 <b>÷</b> 9.6	÷ K 8.125
17+17+17+17=68	17 <b>+</b> 17 <b>+</b> 17 <b>+</b> 17	+ K 68.
(2.3) <sup>4</sup> =27.9841 (または“(2.3) <sup>2</sup> ”として)	2.3 <b>×</b> 2.3 <b>×</b> 2.3 <b>×</b> 2.3 (または“(2.3) <b>×</b> 2.3”として)	× K 27.9841

### ●メモリー計算

計算した数値を一時的に記憶させ、その値を計算に直接使うことができます。

メモリーを使って計算するときは以下のキーを使います。

- ① **FW/FPP**…メモリーに数値を加算する（足す）
- ② **CMP**…メモリーに数値を減算する（引く）
- ③ **AB/±**…メモリー内容を表示させる
- ④ **PREV**…メモリー内容を消去する

※各キーを押す前に必ず**ⓐ** ボタンを押してください。  
(このとき“S”が点灯します)

- 数値がメモリーされているときは、“M”が点灯します。
- メモリーはモードを切り替えても消去されません。

例題	操作	表示窓
●合計計算		
80×9=720	80 <b>×</b> 9 <b>+</b> <b>M+</b>	M 720.
-) 50×6=300	50 <b>×</b> 6 <b>-</b> <b>M+</b>	M 300.
20×3=60	20 <b>×</b> 3 <b>+</b> <b>M+</b>	M 60.
(中間合計) 480		M 480.
123+45=168	123 <b>+</b> 45 <b>+</b> <b>M+</b>	M 168.
(合計) 648		M 648.
●混合計算		
(2×3)+(2×3)+ 4.5+4.5=21	2 <b>×</b> 3 <b>+</b> 2 <b>×</b> 3 <b>+</b> 4.5 <b>+</b> 4.5	M 21.

### ●訂正のしかた

計算途中の数字の押し間違いは、**Ⓐ** ボタンを押し、正しく数字を入れ直せば、そのまま計算できます。

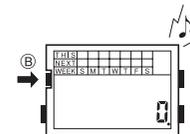
また、**FW/FPP** **CMP** **AB/±** **PREV** キーの押しまちがいのときは続けて正しく押し直します。

※桁オーバーになると、最下桁に“E”を表示し、億の位を小数点で表示します。“E”表示後、計算を続けるときは、**Ⓐ** ボタンを1回、新たな計算を始めるときは**Ⓐ** ボタンを2回押します。

### ●操作確認音のON / OFF

計算モードのときに、

**Ⓑ** ボタンを押します



**Ⓑ** ボタンを押すごとにモード切り替えや計算時などの確認音のON / OFFが切り替わります。

## ワールドタイムの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**ⓐ** ボタンを押し、ワールドタイムモードにします。

ワールドタイムは世界24都市の時刻を簡単に知ることができます。

### ■都市のサーチ

ワールドタイムモードのとき、

**FW/FPP** または **PREV** キーを押します

→各都市の標準時を表示します。

※ワールドタイムに切り替えたときは、前回ワールドタイムモードで最後に表示させた都市名が表示されます。



その都市(LON)の標準時

### ■ワールドタイムの合わせ方

24カ所のうち、1つの標準時をセットすれば時差にしたがい、他の標準時も自動的にセットされます。

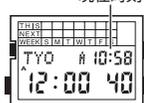
※時刻のセットのしかたは時刻・カレンダーモードの時刻セット（「時刻・カレンダーの合わせ方」）と同様となります。

例) 都市コード“TYO”（東京）を午前10時58分にセットする

### 1. ワールドタイムモードのとき

**FW/FPP** または **PREV** キーを押して“TYO”を表示させます

現在時刻



### 2. セット表示にする

**Ⓑ** ボタンを押します

→10時台が点滅します。



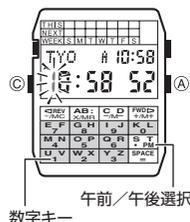
### 3. 時刻のセット

数字キーで、セットしたい時刻を入力します

10時58分をセットするには、数字キーで“1058”を入力します。

※時刻のセット時に、**Ⓒ** または **Ⓐ** ボタンを押すと点滅箇所が移動します。数字を押し間違えたときなど、入力した数値を変更したいときに便利です。

※午前/午後を選択  
時刻入力後、**PREV** キーを押すごとに、午前(A)/午後(P)が切り替わります。



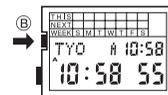
午前/午後選択  
数字キー

※時刻表示を24時間制表示にしているときは、ワールドタイムの時刻も24時間制となります。

### 4. セット後、点滅を止めるには

**Ⓑ** ボタンを押します

※ワールドタイムセット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。



### ■サマータイムの設定

ワールドタイムモードのときに、

**Ⓐ** ボタンを約3秒間押し続けます

→**◆** マークが点灯し、サマータイムモード（通常の時刻より1時間進む）に切り替わります。

※同様に**◆** マークが点灯しているときに、**Ⓐ** ボタンを押し続けると通常の時刻に戻ります。

※サマータイムはセットを行なった都市のみ有効です。

サマータイムマーク



## ■ワールドタイム都市コード一覧

コード	時差	都市名	コード	時差	都市名
---	-11.0	-----	PAR	1.0	パリ
HNL	-10.0	ホノルル	CAI	2.0	カイロ
ANC	-9.0	アンカレジ	MOW	3.0	モスクワ
LAX	-8.0	ロサンゼルス	DXB	4.0	ドバイ
DEN	-7.0	デンバー	KHI	5.0	カラチ
CHI	-6.0	シカゴ	DAC	6.0	ダッカ
NYC	-5.0	ニューヨーク	BKK	7.0	バンコク
CCS	-4.0	カラカス	HKG	8.0	香港
RIO	-3.0	リオデジャネイロ	TYO	9.0	東京
---	-2.0	-----	SYD	10.0	シドニー
---	-1.0	-----	NOU	11.0	ヌーメア
LON	0.0	ロンドン	WLG	12.0	ウェリントン

※この表は2006年12月現在作成のもので、

※時差はグリニッジ標準時（協定世界時：UTC）を基準としたものです。

## アラームの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**◎** ボタンを押し、アラームモードにします。

アラームは分単位でセットでき、セットした時間になると20秒間電子音で知らせます。また、毎正時(00分のとき)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

### ●アラーム時刻のセットのしかた

#### 1. セット表示にする

アラームモードのとき、

**◎** ボタンを押します

⇒10時台が点滅します。



#### 2. アラーム時刻のセット

数字キーで、セットしたい時刻を入力します

例) 8時5分...0805  
10時55分...1055

※アラーム時刻のセット時に、**◎** または **Ⓐ** ボタンを押すと点滅箇所が移動します。数字を押し間違えたときなど、入力した数値を変更したいときに便利です。



- ※午前/午後を選択  
時刻入力後、**Ⓜ** キーを押すごとに、午前(A)/午後(P)が切り替わります。
- ※基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

### 3. セット後、点滅を止めるには

**◎** ボタンを押します

⇒アラームマークが点灯します。

※アラーム時刻セット表示のまま1~2分すると自動的に点滅が止まります。

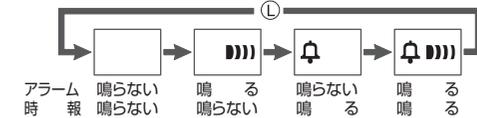


### ●アラーム/時報を鳴らすには

アラームモードのときに、

**Ⓛ** ボタンを押します

⇒押すごとにアラームマーク、時報マークが以下のように点灯/不点灯をくりかえします。



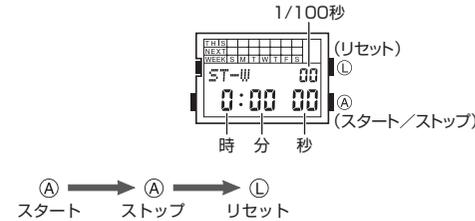
## ストップウォッチの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**◎** ボタンを押し、ストップウォッチモードにします。

ストップウォッチは、1/100秒単位で23時間59分59秒99(24時間計)まで計測でき、以後自動的に0に戻って計測し続けます。

### ■計測のしかた

#### ●通常計測



※減算計測...ロスタイムのある場合はストップ後、リセットせずに**Ⓐ** ボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

#### ●スプリットタイム(途中経過時間)の計測



#### ●1・2着のタイム計測



## タイマーの使い方

「操作のしくみと表示の見方」にしたがって**◎** ボタンを押し、タイマーモードにします。

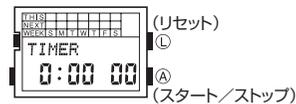
タイマーは分単位で最大24時間までセットでき、セット時間が経過すると10秒間電子音が鳴ります。

### ■タイマーの使い方

タイマーモードのとき、

**Ⓐ** ボタンを押します

⇒減算計測を開始し、残り時間を1秒単位で表示します。  
※計測の途中で最初からやり直すときは、**Ⓐ** ボタンを押して計測ストップ後、**Ⓛ** ボタンを押します。

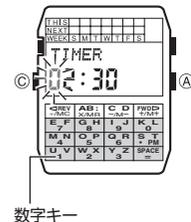


### 2. タイマー時間(時・分)のセット

数字キーで、セットしたいタイマー時間を入力します

例) 45分...0045  
2時間30分...0230

※タイマー時間のセット時に、**◎** または **Ⓐ** ボタンを押すと点滅箇所が移動します。数字を押し間違えたときなど、入力した数値を変更したいときに便利です。また、**◎**・**Ⓐ** ボタンでセットしたい箇所のみ選択することもできます。



### 3. セット後、点滅を止めるには

**◎** ボタンを押します

※タイマー時間セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2~3分後自動的に点滅が止まります。

### ●リピートタイマーとオートリピートタイマー

本機のタイマーは、使い方に応じて、リピートタイマー(繰返し計測)とオートリピートタイマー(自動繰返し計測)を選ぶことができます。

- リピートタイマー(繰返し計測)  
残り時間が0になると、計測前にセットした時間を表示しますので、同じ時間を何回も計測するときに便利です。
- オートリピートタイマー(自動繰返し計測)  
残り時間が0になると、続けて計測前にセットした時間の減算計測を繰返し行ないません。

#### ★タイマー方法の選び方

タイマー時間セットのとき、

**Ⓛ** ボタンを押します

Ⓛ ボタンを押すごとにリピートタイマーとオートリピートタイマー(“**Ⓛ**”点灯)が切り替わります。



### ■タイマー時間のセットのしかた

#### 1. タイマーモードのとき

**◎** ボタンを押します

⇒10時台が点滅します。



### ■鳴っている電子音を止めるには

Ⓛ・Ⓐ・◎ ボタンまたは入力キーのいずれかを押します。

## 時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻・カレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

### ■秒の合わせ方

#### 1. 時刻・カレンダーモードのとき

ⓑ ボタンを押します

⇒「秒」が点滅します。



#### 2. 時報に合わせて

Ⓚキーを押します

⇒00秒からスタートします。



秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは1分くりあがって00秒からスタートします。

※時報は「時報サービス電話 117番」が便利です。

#### 3. 点滅を止めるには

ⓑ ボタンを押します

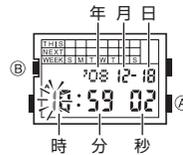
※ 秒（時刻・カレンダー）セット状態で表示を点滅させたままにしておくと、2～3分後自動的に点滅が止まります。

### ■時刻・カレンダーの合わせ方

#### 1. 時刻・カレンダーモードのとき

ⓑ ボタンを押してから、  
Ⓐ ボタンを押します

⇒10時台が点滅します。



#### 2. 時刻・カレンダーのセット

数字キーで、セットしたい時刻・カレンダーを入力します

例) 2009年1月22日8時25分をセットするには“0825090122”と入力します。



※ 時刻のセット時に、ⓐ または Ⓐ ボタンを押すと点滅箇所が移動します。

※ 午前/午後の選択…時刻入力後、Ⓚキーを押すごとに、午前(A)/午後(P)が切り替わります。

#### 3. セットが終わりましたら

ⓑ ボタンを押します

- カレンダーは、1980年1月1日から2079年12月31日までセットできます。なお、年月日を合わせると曜日は自動的にセットされます。
- カレンダーは月末およびうるう年を自動判別するフルオートカレンダーです。